

大成ロテック
国際支社長

たさき しんいち
田崎 信一氏

支社長



中・越での事業拡大目指す

大成ロテックは中国とベトナムの2カ所に海外拠点をもち、うちベトナムは4月に現地法人を設立した。新しい拠点でスタートしたタイミングでの支社長就任。「重責を感じている」と気を引き締めながら、「海外で新しい事業を

展開し、当社の技術を使った舗装を広めていきたい」と意欲を見せる。中国では2000年から事業を開始。現在は現地の国営企業と合弁会社を設立し事業を展開している。今後は民間会社ともタッグを組み事業範

に入っている」ため、同国での新市場開拓を見据える。一方で「舗装を再生利用する技術が一般的になっていない」ことから、「日本のアスファルト再生技術をベトナムでも拡大する」とも考える。

国際支社での業務について「利益を取るだけでなく、技術面でその国に貢献しなくてはいけない」と強調。「貢献が地域に評価され、成果として表れれば社員のモチベーションも上がる。若い社員にはモチベーションを高くして業務に励んでもらいたい」と奮闘を期待する。

囲の拡大を狙う。年度内にも企業を選定する。着色されていたり、滑り止めがついていたりする独自の技術「特殊性舗装」の施工実績も「引き続き伸ばしていく」と意気込む。ベトナムは「インフラ整備の第1段階が熟しつつあり、インフラを維持管理する時代

(10月1日就任。埼玉大学大学院工学研究科修了。茨城県出身、60歳)